

公開シンポジウム

舌小帯短縮症の考え方

日 時 : 平成 26 年 8 月 17 日 午後 1 時 00 分～4 時 30 分

場 所 : 東京医科歯科大学鈴木章夫記念講堂

開催主旨 :

舌小帯短縮症は哺乳や嚥下、構音などの機能を障害するとの指摘がありますが、その実態は必ずしも明確になっておらず、対応法についても多様な考え方があります。本シンポジウムはこの問題に対する統一の見解を導き出す糸口になることを目指しています。

プログラム :

1. シンポジウム開催趣旨説明

小児科と小児歯科の保健検討委員会委員長 前川喜平 先生

2. 保健・医療現場での舌小帯短縮症に関する動向

・小児保健での状況

東京慈恵会医科大学名誉教授 (小児科学) 前川喜平 先生

・歯科での状況

全国小児歯科開業医会前会長 荻田修二 先生

3. 哺乳・嚥下機能からみた舌小帯短縮症

・助産師の見解

アールアンドワイ母乳育児相談室 福田良子 先生

・小児耳鼻咽喉科医の見解

国立成育医療研究センター耳鼻咽喉科医長 守本倫子 先生

・小児科医の見解

東京女子医科大学名誉教授 (小児科学) 仁志田博司 先生

・海外の動向

国際医療福祉大学熱海病院小児外科・小児科教授 伊藤泰雄 先生

・指名発言：国外のガイドラインについて

東京医科歯科大学名誉教授 (小児歯科学) 高木裕三 先生

4. 構音・舌運動からみた舌小帯短縮症

・言語聴覚士の見解

東京医科歯科大学歯学部附属病院言語治療外来 壬生美智子 先生

5. 総合討論とまとめ

参加費 : 2,000 円

定 員 : 400 名

主 催 : 公益社団法人 日本小児保健協会 担 当 : 小児科と小児歯科の保健検討委員会

連絡先 : 日本小児保健協会事務局

Tel: 03-3868-3093 Fax: 03-3868-3092

公開シンポジウムに参加される皆様へ

(1) 事前登録

- ・事前登録は行いません。当日、総合受付にて先着順に参加受付をお済ませ下さい。なお、定員は400名となっております。もし当日の参加希望者がこれを越えた場合には隣接する共用講義室（定員100名）にシンポジウムをモニター中継いたします。こちらへの参加費は無料となりますが、定員を超えた場合には参加を締め切らせて頂きます。

(2) 参加受付

- ・8月17日（日）午後12時15分より東京医科歯科大学M&Dタワー（下図キャンパスマップをご参照願います）2階鈴木章夫記念講堂ロビーにて行います。
- ・総合受付にて参加申込票に氏名と所属、職種を記入し、参加費2,000円と共にご提出下さい。引き換えに領収書をお渡しします。

(3) 抄録

- ・事前抄録集の作成はいたしません。当日会場ロビーに各シンポジストの講演抄録（A4版）を準備しますので、入場の際に各自お取り下さい。

(4) 質疑応答

- ・会場の客席には個別にマイクが備え付けられていますが、シンポジウムでの発言は司会者の指示または許可を得た場合に限りさせていただきます。

- (5) 会場内ではシンポジウム記録担当者以外の写真・ビデオ撮影は禁止です。また、携帯電話・スマートフォンなどの電話は切るか、マナーモードに設定して下さい。

東京医科歯科大学キャンパスマップ

